

様式第1号

会 議 録

会議の名称		第6回つくば市未来構想等審議会	
開催日時		令和元年（2019年）5月29日 開会15:30 閉会17:30	
開催場所		つくば市役所 5階庁議室	
事務局（担当課）		政策イノベーション部企画経営課	
出席者	委員	山本美和、松田慧吾、大澤義明、市川一隆、桜井姚、小玉喜三郎、宇津野茂樹、生田目美紀、望月義人、村上博、伊藤達也、坂本義治、中嶋信美、北本政行、永井悦子、中嶋修、西美佳、林亮、山口圭一、横田直巳、飯野哲雄、毛塚幹人、門脇厚司 計 23名	
	その他		
	事務局	神部政策イノベーション部長、片野政策イノベーション部次長、大越企画経営課長、課員6名	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 1名
非公開の場合はその理由			
議題		(1) まちづくりの理念の修正案について (2) 将来フレーム推計（人口推計）の修正について (3) 未来構想改定中間とりまとめ案について (4) 戦略プランの策定方針と2019年度審議会等の策定体制について (5) 未来構想キャラバンの実施について (6) 現戦略プランの振り返りについて	
会議次第	【第6回つくば市未来構想等審議会】 1 開会 2 報告 (1) 第5回審議会の開催報告 3 議事 (1) まちづくりの理念の修正案について (2) 将来フレーム推計（人口推計）の修正について (3) 未来構想改定中間とりまとめ案について (4) 戦略プランの策定方針と2019年度審議会等の策定体制について (5) 未来構想キャラバンの実施について (6) 現戦略プランの振り返りについて 4 閉会		

審議内容

1 開式

片野次長：只今より第6回つくば市未来構想等審議会を開会いたします。私は、つくば市政策イノベーション部次長の片野でございます。よろしくお願ひいたします。本日は、ただいまの時点で22名の委員の方に御参加いただいております。会議開催要件の過半数を満たしていることを御報告いたします。始めに、市長の五十嵐より御挨拶申し上げます。

五十嵐市長：改めましてこんにちは。本日もたくさんの委員の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。前回、前々回は職員ワーキングチームが作ったビジョンを皆様に共有して、それに対して色々と活発な御意見をいただきました。このようにビジョンを作っていくプロセス自体もすごく重要だと思っております。今回、中間報告という形でまとめることができたことをありがたく思っています。皆様のご意見を頂きながら目指すべき方向性を、理念としてひとつお示しできたのではないかと考えています。先ほどまで総務大臣が来ており、知事と少しお話をしてきたのですが、G20が10日後には開催されるということで、そのG20で日本側としてはどういう声明を出したいかということと、SDGsを達成し、誰一人取り残さない世界を作っていくために、テクノロジーや科学技術を使っていくということがおそらく柱のうちのひとつに入ってくるだろうというようなお話をされておりました。新聞報道にも出ていますがやはりそれをするのはつくば市の役割であります。そういった中で今回このようなひとつのビジョンができ、そしてこれから具体的な戦略を作り込んでいくというプロセスになってきますので、ぜひ今回から新しく委員をお引き受け頂いた方もいらっしゃると思いますが、これまで同様に活発に議論して頂いて、良いものを作っていくために皆様のお力を頂ければと思います。私は少ししか居られませんが、できるだけ色々お話を伺いながら後程失礼いたしますのでご了承ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

片野次長：ありがとうございました。ここで、議題に入る前に委員の交代がありましたので御紹介いたします。名簿順で御紹介させていただきますので、御了承ください。

はじめに、地方行政機関及び公共的団体として、茨城県政策企画部地域振興課課長 松田慧吾様。次に、学識経験者として、筑波学院大学学長 望月義人様。続いて、つくば市工業団地企業連絡協議会会長 村上博様。続いて、つくば市中学校・高等学校長協議会会長 國府田稔様。國府田様は本日所用により欠席

となっております。以上、4名の方の交代がございます。委嘱状につきましては、時間の都合上、既にお手元に配布させていただいております。よろしくお願いいたします。

2 報告

片野次長：それでは議題に入りますが、ここからはつくば市未来構想等審議会条例に基づき、大澤会長に進行をお願いいたします。

会長：本日も進捗に関してご協力いただければと思っております。早速ですが本日議題が多いので議事に入りたいと思います。第5回審議会の開催報告をお願いします。

【報告（1）第5回審議会の開催報告】

会長：さっそく、報告の一つ目、第5回審議会の開催報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（報告1を用いて第5回審議会の開催報告について説明。）

会長：只今の内容について御質問等がありますでしょうか。

（各委員からの質問は特になし）

会長：特に御意見無いようですので、次に進みます。

3 議事

【議事（1）まちづくりの理念の修正案について】

会長：次に議事に移りたいと思います。議事の一つ目、まちづくりの理念の修正案について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料1-1、1-2を用いてまちづくりの理念の修正案について説明。）

会長：ありがとうございます。只今の内容について御質問等がありますでしょうか。

委員：9ページを御覧下さい。目指すまちの姿というところの、未来を作る人が育つまちという事ですが、その説明の中に変革を起こす人材が育つまちというのが、私達のまわりでも、これを見てももらいましたが、未来を作る人が育つ

ではなく、共に未来を作っていくという、そういう表現が自然かなと思います。そして人材と言うことは、SDGsや継続性のあるまちというところから出てくると思うのですが、人を育てると言うことは分かりますが、人材という言葉に抵抗があるというような意見も出ましたので、お考えいただけたらという風に思っています。

もう一つ、10ページですが、「科学技術」というところに引っかかります。普通に暮らしている立場からいいますと、人が豊かに暮らすための科学技術、暮らしを支える科学技術であってほしいと考えており、科学技術で人が豊かになるというのは、立ち方が逆というか、そういった感想があります。

委員：委員がおっしゃることと近いところがありますが、目指すまちの姿というのは、誰に認識してもらいたいまちの姿なのか。行政や関係団体が私たちはこういうまちを目指しますと言うならば、この言い方で仕方ないかなと思いますが、市民の皆さんに想像してもらいたいのであれば、こちらが目指すまちの姿ではないのかなと。前回、委員から出していただきました、例えば顔と顔が見えるまちや、挑戦を応援してくれるまち、未来をつくっていくまち、こちらの方が市民の皆さんの想像はしやすいだろうと思います。ですので、これが結局切り離されてしまった感じがありまして、前回の委員から出された資料では、連携の中で、こういったまちの具体的な方法として科学技術やSDGsがあり、人材育成というシステムがあるという認識で、すごくすとんと落ちてきましたが、申し訳ないことに今回送られてきたものを見た瞬間に、また戻ってしまったかなという感じがありました。行政側が自分達の目指したいものということであれば、良いとは思いますが。ただ、市民の皆さんにも理解していただいで一緒に進めたいというのであれば、もう少し言葉は人間臭さがないと生活感がないというか、かっこいいですが、どちらに認識させたいのか方向性がはっきりすれば、納得出来るかなと思います。

委員：挑戦を応援するというところですけども、何となく市民自らが挑戦するというイメージがでてこない。この文章を見ると、よそから来た人と子ども達が挑戦します、それを応援しますということですね。やはり大人や高齢者の方、障害持った方、子育て世代の方が少しずつでも挑戦をするということが大事なのかなと、そういったところからイノベーションが生まれることもあるかも知れませんが、そういった方の協力もないと、そういった方面でのイノベーションは、科学技術のみでは生まれにくいというふうに思いますので、例えば、「挑戦を続ける」と書き出すとか、文章のところも、「イノベーションを目指す挑戦者を応援し、自らも挑戦することで新たなまちの活力を生み出す」とか、そ

ういうニュアンスがあってもいいのかなと、今更ですが思います。また、10ページの科学技術について御意見が出ましたけれど、私は科学技術というどうしても理科系のイメージがあり、筑波大学ですと人文系の先生、体育系の先生、芸術系の先生、色んな方がいらっしやって、そういった方々もやはりイノベーションの源泉になりうると考えると、科学技術やあるいはそういった先生方というのは、4番2つ目途中で文化芸術スポーツ等と書いてありますので、そちらの方で読んだということであれば、そういうことなのかなというふうに理解したいと思います。

委員：前回、ここでいうところの理念の3つの柱を提案させていただいた者としての感想を述べさせていただきたいと思います。確かに最初見た時の印象というのは、先ほど委員から御指摘あったような印象を受けましたが、やはり庁舎内でトップも含めこういう形を作りたいという説明を伺いました。そういった思いがないよりは、遙かにあった方がいい訳なので、それも1つ大事にするのもありかなと一歩引いて考えました。また、挑戦を応援するという表現の部分は、私としては、委員の皆さんから出てきた意見とは別に、応援するというイメージがあります。この部分では、挑戦者が出る杭を打つということはまずやめようと、そういった挑戦する背中を見て子ども達が育っている姿を見せたいと、今日欠席されている委員からお話がありました。そういった思いがベースになっております。挑戦するという部分は、その次の「未来をつくる」の要素として十分盛り込まれていると、作っている段階で思っていました。私としてはこの案で、後は会長にお任せする形でいいのかなと思っているのですが、両局からの提案のタイミングについて1つだけ言わせてください。昨年度1年ずっと我々は、どちらかというと案を受ける立場だったわけですが、庁内では1年議論する時間があり、それを受けて審議会内部から案が出て、その後にそれを置いて、表現を改めて出してくるといのはどういうことなのだろうと。より良いもの、分かりやすいものを作りたい思いであるというふうに受け止めおきますが、SDGsの項目でもパートナーシップで目標を達成するとあったと思います。つくば市が言うパートナーシップというのはどういう事ですかと疑念を抱かれかねないと思いますので、考えながらやっていければと思います。

委員：これまでの色んな議論を反映して、かなり修正を加えていただいております。全体としてはバランスの取れた表現になっていると思います。私は自分自身の期待ということもあったのかも知れませんが、前回の未来構想というのが、どちらかというとしてすべて目指しますという書きぶりになっていましたが、今回は2030年の状態を書いており、書き方として今まではなかったと感じました。た

だ、どこかの文章に 2030 年のターゲットを選んでいるという意味も含めて、「意識を持って生活しています」、「安心安全の生活を送っています」等の書き方は非常に主観的な感じがするので、言葉や文章として書くかどうかは別ですが、多くの市民の方がこういう状態を実感しているまちを目指している客観的状态をターゲットとしているという理解は全体に通じることなので、2030 年の目標というのはどういうことなのかというのは、書いておくといいのかなという印象です。

委員：見させていただき、柔らかい文章の中にもポイントを抑えて 2030 年に目指す姿を表しており、委員の皆さまの意見を入れたソフトで力強い内容であるということを感じました。また、以前の総合計画と、少しニュアンスが違いました。市民本意といいますか、市民中心の形に作られており、大変好感を持たれた次第です。これは、委員のコンセプトがいきで、行政だけではなかなか表現出来ないような内容で、この審議会の意見を網羅し、2030 年に向けてのポイントを抑えた内容で良いなと感じました。先ほど委員がおっしゃったように、全体の目標がどこかに明記されているほうが、アピールが強くなる感じはしております。

委員：2 回の市民のワークショップがありました。私は 2 回とも参加しましたが、その時に市民が最終的に出した結論として、新住民がどんどん増えている、つくばだからこそということもありますが、市民と市民が強い繋がりをつくりながら、協力しながらまちづくりに関わっていくということだったと記憶しています。市民自身が自ら企画し、汗を流すようなことをしながら、まちを作っていくようなことが、もう少し全面にできてもいいのではないかなと、共にまちをつくっていくということが委員からありましたが、そういったことを、もっと強く出るような形の未来像が良いと思っておりますので、お考えいただければと思います。

会長：今、様々な意見を頂戴しました。市民からすると、文章に生活感がないという御指摘や、「科学技術」と「人が豊かになるまち」との関わりについて等、様々な御意見をいただきました。一方で未来構想審議会のスケジュール等の制約もございますので、今日いただいた意見を踏まえながら、一方で、構造的なエンジン部分である、目指すまちの姿 4 つに関してはご理解いただくと認識し、できれば会長に一任して頂ければと思っております。皆さんの意見の全てに配慮できる自信はあまりありませんが、まず前に進めるということが大事ですので、ここは御理解いただき一任頂いて、次回に修正をお出しするという形でいかがでしょうか。

五十嵐市長：今、頂いた御意見は、非常に重要な内容だと思いますので、何となく預かるのではなく、きちんと庁内で議論をした上で、どこまで反映できるかということを考えようと思います。これだけ多くの皆さんから疑問の声が出るということ、我々はきちんと受け止めなければいけないと思っています。ありがとうございます。

【議事（２）将来フレーム推計（人口推計）の修正について】

会長：続いて、（２）将来フレーム推計（人口推計）の修正について事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料２を用いて（２）将来フレーム推計（人口推計）の修正について説明。）

会長：人口推計に関して、様々なパラメータを与えて推計する訳ですが、パラメータの与え方を精査したということで、推計精度を高めたという内容になっております。御質問御意見等はございますか。

委員：生産年齢の人口の推移についての推計をお願いしたいと思います。

事務局：一旦全体でお示ししておきまして、今おっしゃっていただいたような年度、地区別というものは、これから詳細をお示ししていきたいと考えております。本日はお示し出来ず、申し訳ありませんが、これまで2030年が生産年齢人口のピークと考えておりましたが、多少後ろにずれるというふうに考えております。

会長：数値的に出すのは難しいことではないので、次回出して頂くということをお願いします。修正したとしても変化がない、またはピークは後ろになるというところを御説明頂きました。

【議事（３）未来構想改定中間とりまとめ案について】

会長：続いて、（３）未来構想改定中間とりまとめ案について事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料３を用いて未来構想改定中間とりまとめ案について説明。）

会長：先ほど、事務局からも御説明ありましたが、中間とりまとめ案について御意見をいただきたいと思います。今後、市民の皆様から頂いた意見を踏まえながら、或いは時代の流れも見ながら柔軟に対応し、良い計画を作るという方向で

持っていきたいと思います。現時点で御意見御質問あれば頂戴したいと思いません。

委員：丁寧にまとめて頂いて本当に読み応えもありました。少し気になる点は、先ほどの議論からも関連するかも知れませんが、23 ページの取組が進んでいるという分野、遅れている分野というところの、遅れている分野の2番目に「働きがいも経済成長も、特に就労就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす施策」とありますが、もう少し書き方、書きぶりを考えて頂いて、少しネガティブかなという風に思いますし、ほんとにここに暮らしていい、どんな立場の人達も一緒に未来を作っていきましょう、というような視点からすると少し上から目線という感じがしました。

事務局：今御指摘頂いた書きぶりは、国連が書いた言葉をそのまま用いているもので、市が言っている形で読まれると、上から目線だととられてしまいますので、全体的に書きぶりについては再度確認をしたいと思えます。

会長：やはり市民と一緒に作っていくことが大事なので、ここは御配慮頂いた方が、例え国連だとしても市民目線の表現の方が重要だと思いますのでよろしくをお願いします。

委員：ありがとうございます。非常につくば市の立ち位置や現状が分かりやすく、大変に読み応えがあり、非常に理解が深まる内容だったなと思えます。まず14 ページですけれども、真ん中ほどに「国連総会において持続可能な開発のための2030 アジェンダ」と書いてあるのですが、これカッコでSDGs と入れた方が、後にSDGs という言葉で出てくるので、付け足した方が親切かなというふうに思いました。また、人口の方でもそうですが、手法について業界用語と申しますか、例えばフォアキャスティングやバックキャスティングという言葉は、分かる方は勿論よく分かっていると思えますが、市民の立場で見るとなかなかこういった言葉というのは分かりづらいので、どこかに注釈を付けていただけるといいのかなと思いました。どこまでというところも色々あると思えますが、こういった手法については特記していただくといいかなというふうに思っております。それと15 ページですが、3の構成及び計画期間とかいてありまして、「まちづくりの基本理念や目指すまちの姿を示した未来構想と、その実現のための主要な施策等を示した戦略プランから構成します。」これは、「戦略プランから構成します」で文章的には問題はないのですか。何となく読んでみて違和感があったので、お調べ頂ければと思えます。

事務局：まず、SDGs というところは、確かに市民の方はイコールで繋がらな

い方も多いと思いますので、入れる方向で検討したいと思います。用語につきましては、最後に用語集のような形で分からない単語をまとめて、そちらに飛んで確認いただける様な形にしたいと考えております。戦略プランという言葉、表現につきましては、こちらも最後見直しを行いまして、未来構想と戦略プランという二本立てですという事が言いたいので、言葉の使い方に関しましては、分かりやすい形で整理をしたいと思います。

会長：やはり市民に読んでもらうということは大切ですので、用語集や図など視覚的に訴えるものを極力入れていただければと思います。

委員：16 ページですが、社会情勢等の（1）の2行目、「日本の人口は2004年をピークに減少へと転じ、また生産年齢人口は1995年のピークからのち減少局面に入っており」というのは、少し表現が分かりづらいかと思います。

会長：御確認いただき、柔軟に対応したいと思います。

委員：全体の構成は大変良く章立てされていてよろしいかと思えます。議題の中身はこれから御審議頂くことかと思えますが、45 ページの中で気が付いたのですが四角の中の3つのポイントの中に、新たな産業を作り出す産業拠点として整備を実施すると書いてあるのですが、具体的な理解ではハブアンドスポークという形になりますね。そうするとハブとスポークという形で従来言われていますが、新産業拠点、従来の都市などについて、あまり明記されていなかったと思います。新産業創出の拠点ということが、48 ページの上には書いてあるのですが、田園ゾーンですと、それを構成する内容があまりよく見えない。つくばの特徴を書いて頂ければいいのかなという気がしました。今日御欠席の委員が、具体的に彼らが考えている事が実現できない土地利用はないという話をしましたが、ここに書いてある土地利用見直しというようなことは、規制を場合によっては変えるということも含まれているのかとも思います。その目的として、新産業の創出拠点を作るという主旨があまりはっきりしていないと思いますので、明記できればと思います。

事務局：委員のおっしゃる通り、必要に応じて土地利用の見直しをするというような目的が、具体的に明記されている方がつくばらしくなると思いますので、追記するような方向で検討させていただきたいと思います。

会長：委員のおっしゃるとおりに、委員も前回おっしゃってありますが、イノベーションを残すためには、基礎の制度を少し厚くしておくといった姿勢が大事だと思います。

【議事（４）戦略プランの策定方針と 2019 年度審議会等の策定体制について】

会長：続いて、（４）戦略プランの策定方針と 2019 年度審議会等の策定体制について事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料 4-1、4-2 を用いて戦略プランの策定方針と 2019 年度審議会等の策定体制についてについて説明。）

まずは、この部会を立ち上げることにつきまして、御了承をいただきたいと思えます。今回、それぞれのバックボーンの下、一旦事務局案を作らせていただいたところでございますが、御本人の御希望もあるかと思えますので、本日会議開催後、本日御欠席の方もいらっしゃいますので、最終的に御意見を聞きまして、どちらの部会に御所属いただくか決めさせていただければというふうに考えております。

会長：ありがとうございます。この部分に関しましては、54 ページになります。戦略プラン策定作業について御承認いただければと思えます。（１）、（２）、（３）というプロセスを得て、重点戦略と主要プロジェクトを設定し、機能を具体化させていくということになります。54 ページから 55 ページですが、これまでの御義論を踏まえ、この審議会を二つのグループに分けて、専門部会にて少人数で議論することによって、皆さんの御意見をより適切に反映させたいと思っております。事務局からそれぞれのグループ分けを初期案として提案させていただきました。こちらに関しては、皆さんの御希望もあるかと思えますが、これを初期案とさせて頂きまして、また御意見等ございましたら事務局の方に言っていただいで進めて行ければと思っております。ここで確認したいのは、一つ目が戦略プランの策定の仕方、二つ目は、専門部会を立ち上げて進めていくということを、まずは確認させていただければと思えますが、その手続に関してはいかがでしょうか。基本的な考え方としては、よろしいですね。こちらのグループ分けのところですが、多分皆さんの御専門、お強いところとかあるかと思えますが、全体のバランスを見て作って行けたらなと思っております。こちらに関しては会議終了後、事務局の方に御希望ありましたらお伝え頂ければと思えます。グループ分けに関しては、申し訳ありませんがこちらも慎重に、最終的には全体のバランスがありますので、一任いただければと思っております。よろしいでしょうか。

【議事（５）未来構想キャラバンの実施について】

会長：続いて、（５）未来構想キャラバンの実施について事務局から説明をお願い

いします。

事務局：（資料5を用いて未来構想キャラバンの実施について説明。）

会長：市民の意見を聞く方法としてはいくつかありますが、キャラバンと言いますのは役所で待っているのではなく現場に行き意見を聞くという能動的な意見聴取方法だと思います。只今の内容について御質問等がありますでしょうか。

委員：開催のターゲットが中高生から①～⑥までであるがそれぞれのターゲットごとに説明資料を変えながら表現を考慮して説明されるという理解でよろしいでしょうか。

事務局：本日は机上に概要版というかたちで御用意させて頂きました。こういったものをベースとして対象に応じて内容を適宜変える形で進めていきたいという風に考えております。

委員：各ターゲット1回ずつという事だと思います、そこを逃すとターゲットのキャラバンには参加できないという事になってしまうと思うので、どれだけ見るかというのがあるかとは思いますが資料と説明の動画を見て、後から意見を投稿できる、パブリックコメント的なものとかといったことも導入を検討頂ければと思います。例えば①の説明の動画を使って中学校の先生が59ページの3-2で書いているようなそういう授業を個別でやったりすることももしかしたらできる可能性もあるかなと思いますので、もう少しITツールを使って間口を広げていけたらいいなと思うので御検討頂けたらと思います。

会長：委員のおっしゃるとおりで、色々な選択肢を用意しながら市民の皆様の御意見を聞く。特にITを活用するというのは大事かなと思いますのでぜひお願いしたいと思います。

【議事（6）現戦略プランの振り返りについて】

会長：続いて、（6）現戦略プランの振り返りについて事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料6-1、6-2を用いて未来構想改定中間とりまとめ案について説明。）

会長：只今の内容について御質問等がありますでしょうか。

委員：詳しいデータがたくさん出てきたので頭の中がパンクするかと思いますが、市行政経営懇談会で62ページのこういった評価を担当していたものですから実際やりながら色々な課題や悩みなどもありました。今回は従前とどう違うのか、基本同じなのかその辺を確認したいのですが、従来はこの個別施策というのが30あり、全体で基本理念が4項目に括られていたと思うのですが、これから、それに相当する戦略プランを議論するわけです。大きくはこの4つになっていまして、今回はこの2030年の未来像というのがここに入ってきますが、この右側に基本施策と書いてありますがそれぞれあるいはそれを2つに分けてという関係になっているという理解でよろしいでしょうか、ということが1点。それを元に個別、重点戦略というのがありますが重点というからには普通の戦略と重点戦略の関係はどうなるのか。この後の戦略プランの中で議論頂くことになるので簡単に結構ですが、その仕組みは従来と変わらないということが1点の確認。

もう1点は従来行政経営懇談会で評価したのですが、予め何を評価しますとこのことを説明いただき、行政の側で自己評価をした。中にはこれはちょっと違うのではないかと、例えば評価というと数値化しないといけないということもあって、市民説明会に参加した人数が評価の項目だったりする。それは一つの代表値としていいかもしれないが、そうではなくて効果を検証しないといけないのではないのでしょうか。効果はなかなか難しいがその項目も含めて議論しないといけないという評価項目を後から出すわけにもいかないもので、予め十分議論してやらないといけないと思います。今回、戦略プランのフレームを議論致しますが、そこはいわばバックキャストという意味で、最終的な成果としてのターゲットを決めることになりませんが、それに対する達成度という形まで議論するのかどうか。その辺について従来と同じなのか違うのかということも含めて御説明頂けるとありがたいです。

事務局：現在の戦略プランの評価については2回程期間中に評価をして頂いております。その中で課題として説明しました通り、一連のストーリーがわからない。なぜこの事業が重要な事業なのかということがわかりづらいという点と、評価するにあたってKPI等の成果指標が設定されていないこと、評価として主にB評価が多くなってしまいうちに3つの指摘を受けております。そのため、新たなプランを議論頂く中ではこういった指摘、提言を受けてどういう目的で重点施策にしているのか、成果としてKPIをしっかりと設定して、進捗、評価を客観的に分かりやすいものにする、評価方法についてもしっかりと有効かどうか分かりやすい評価の段階を作るといような、指摘を受けた点について改善していき、より客観的な評価ができるようなものに作っていきたいというこ

とで、今後色々と議論して行って頂きたいと考えております。

事務局：補足しますと、粒度といいますかその粒の大きさということで57と62ページを比較した場合としまして、基本施策については現在の施策となっている「健康福祉サービスを強化する」などの粒の大きさとしては同等程度のものになるのかなと考えております。重点戦略というものが現在の個別施策といわれているものに粒の大きさとしては同等程度という風に考えておまして、2つ目はここで56、57ページに重点という形であえて入れさせて頂いているところですが、今回の戦略プランのコンセプトの一つとして総花的にならないという形で、これに力を入れていくという選択と集中というものがありますので、色々な戦略がある中であえて重点的に取り組むものを載せるという意味で今回重点という名称を使っております。評価としましてはそれぞれ基本施策が未来像と近いものとなりますのでそこでのKPIというものをきちんと設定し、未来像の評価というものも施策として評価をすることで未来像が達成出来ているのかというものを見えるようにしたいと考えております。加えて、ストーリーを持った形で重点戦略とKPIを定めまして、施策には大きなKPIを設定し、戦略の方はより具体的なKPIとなるようにし、ストーリーを持ってそれぞれ一連の流れとして見られるようにという形で作っていきたいと考えております。

会長：他、よろしいでしょうか、議事は6点全て終わりましたがこれを通して多少時間がありますが何か御質問御意見ありましたら。特に発言されていない委員さんお願いします。

委員：今御説明頂いた戦略プランのところで、今の戦略プランの基本施策、個別施策の軸はこうなっていて、こういう風な評価結果が出ているのだけれども、課題はこういう風になっているから今、まさにここで策定しているものについてはこういった課題も踏まえて評価についても改善を図って行くよという理解でよろしいでしょうか、ということが一点と、折角出てきたのでお伺いしたいのですが、今回この前回比でマイナスが大きくなっているものに対して手はどのように打っていくのかというところをお伺いしたいと思います。

会長：前者の御指摘はおっしゃる通り今後活かしていきたいと思っています。

事務局：1点目につきましてはおっしゃる通り今まで現行の戦略プランで行ってきた評価について課題を持ちながらやってきましたのでそういった課題について改善をしながら次期戦略プランの評価についての仕組みも考えながら作

っていききたいということです。

事務局：今回行政経営懇談会で評価を頂きましたが、各施策におきましてABCという評価も受けたのですが、それぞれの提言という形でそれぞれの施策について改善等の御意見を頂き、尚且つそれを担当部署にフィードバックし、次年度以降の事業に活かすようにという情報共有も行っておりますので施策評価を受けての取り組みが行われることになっております。当然こういった課題につきましても次回の戦略策定の中には盛り込んでいききたいと考えております。

委員：17ページの構想のところですが、上から2行目のsociety5.0や第4次産業革命等の言葉の脚注はあるが、これだとほとんどわからないので非常に丁寧な説明が必要だと思います。この概念が未来像になっているので、そこがわからないとどうしていききたいのかが見えない。おそらく自分の職場の人に聞いたら誰も知らないと思います。ここは別紙を付けるなりして丁寧に説明して頂ければと思う。

会長：厳密に説明すると余計に分かりにくくなると思うのでおそらく例示だとか図を使いながらの説明になるのかなと私も思います。この文章だと更によくわからなくなってしまうのでぜひそこは御検討頂ければと思います。

委員：似たような事にはなるのですが、この文章を読んでいて私は会議に出ていてわかる事もあるのですが、一般市民の方がこれを読んでわかるのかなというのは疑問な所があって、society5.0とかいう単語もそうですし、人材や科学技術だとか少しわかりにくい単語があると置いていかれてしまうというのも気になる所ではあるので、文章の言葉をひと通り考えなければいけないなという感想を持ちました。こちらのカラーの資料も拝見しましたが、一番市民に伝わって欲しい第6章のまちづくりの部分、青いページがありますが、これ全部文字ですよね。分かりやすいようにイラストとか付けて市民の方に一番目に留まる資料という位置づけであれば、その概要版はなるべくイラストを多くして分かりやすくするとかの見た目の工夫も必要かなと感じました。未来構想の全体というか方向性が市民と一緒にがんばろうという文章であるなら全体的に行政がこうやるからよろしくというスタンスではなくて、みんなにも読んでもらえて一緒にがんばってもらえる資料作りをがんばっていききたいかなと思います。

会長：厳しい意見を頂きました。

事務局：一つ目の御指摘の言葉、専門用語につきましては他の委員の方からも御

指摘頂いておりますのでそれについては用語をきちんと説明し、図や表を使って説明するという事で対応させて頂きたいと思っております。今回概要版に文字が多いという御指摘ですが、最終的にはこれをどう見せて行くかということも合わせて考えていきたいと思っており、ワーキングチームで戦略を考えて行く通常の班とは別に特命班という形で、我々が作っている資料をいかに市民にわかりやすく伝えていくかという、表現や市民から御意見等を頂く為の仕組みづくりといったような形でそれも合わせて考えていきます。最終的に中身が固まるにあわせてわかりやすい表現で、市民の方に読みやすい形でまとめていきたいと考えております。こちらは検討状況も合わせて審議会で報告したいと思っておりますので今年度御確認頂きたいと考えております。

委員：文章だとなかなか読まないの動画配信とかは考えていないのでしょうか。以前視察に行って新潟の三条市に行ったけれどもそこでは教育施策の動画を作っていました。お金かかるので大変かもしれないですけどできるのであれば。

事務局：見せ方の形では今動画という御意見も頂きましたので、それも含めて検討していきたいと思っております。

会長：色々なコンテンツを試してみるということは大事かと思っておりますのでよろしくをお願いします。

委員：土地利用の所の委員御指摘の所、新産業創出はそもそもどこでやるのかと厳しい御指摘かなと私も思いました。具体的にここでやりますと言うと今までのつくば市だと、周りはどうなるかという話になるのが傾向としてあって、やはり選択と集中を考えなくてはならない場面はどこかで盛り込まないといけないかなと思います。ゾーンによる土地利用の方針の一番上でその辺を言っていくのか、それとも具体的に重点施策とかその辺りまで応用していく考えなのか、その辺りの事務局の案をお聞かせ願いたいのが1点、その後の地域生活拠点、周辺部の部分、この地域の中心として日常生活に必要な様々なサービスというのはどういったものを具体的に施設として想定されているのか。商業の買い物だけのイメージなのか、医療福祉などの部分までなのか。そういった部分によって次回以降の重点施策とかを考える具体的な検討の中身になってくるのかなと思いますので事務局のイメージを教えてください。

事務局：質問で頂きました産業集積はどこで担っていくのかという所について、まずはつくば市の全体の方針として、産業集積に取り組んでいくという事を示しつつ、個別の地区においても記載を今回行っておりまして48ページの中段

で産業集積地域という形でこちらは既存の研究施設、生産施設等は集積した工業団地、こちらを更に活性化させていくという事がまず1点目としてございます。こちらはこれまでの構想では特に産業施設地域というものが無かったので今回新たに設定して、市街化区域の中でこういった今ある工業団地を更によくしていきますということです。あわせて、49ページにおきまして、田園集落の中の2つ目の集落里山地域がございまして、こちらは基本的に市街化調整区域におきましては、基本は農地ですとか環境等を保全していくというのが前提としてはあるのですが、ただ田園都市ゾーンを補完する土地利用が求められる場合で、特に産業集積について新たな活力を生み出す拠点となる場合には検討を行っていくという形です。後々つくば市において社会・経済・環境それぞれいい面をもたらす持続可能な開発については検討していくという旨の記載を行っております。ただ現在前ページの地区の所で、つくば中心市街地地区、研究学園駅周辺地区という形で記載はしており、前回委員からも御発言有りましたが、事務局で今回必要に応じて土地利用を見直しますという記載はしていますが、委員からも御発言頂きましたのでこちらに更に産業集積拠点ですとか、イノベーション創出拠点となるようなまちづくりを目指していくという記載について追記を検討していきたいと思っております。

2つ目に頂きました地域生活拠点に必要な機能といたしまして、考え方そのものはまちひとしごと創生が人口ビジョンにおいてお示しした内容となっておりますので、詳しくは人口ビジョンの中で御覧頂けますが、簡単に概要だけ御説明しますと、必要な機能として行政機能として窓口センターですとか出張所機能、高齢者福祉機能としてサービス付き高齢者住宅、デイサービス、子育て機能として保育所、児童館といったものでそれぞれ地域生活に必要なものを想定しています。こういったものについて地域の生活に必要なものを拠点に集めてそこで日常生活を送れるようにして、大きな病院に行く際にはハブの方に移動して頂いて必要な機能を満たしていくというかたちでそれぞれハブと拠点で役割分担していくという形の考え方となっております。

委員：考え方の前提を整理させて頂きたいのですが、そもそもこの未来構想というのは市の中の全ての計画の最上位に来るものでいいわけですね。土地利用に関しては昨年策定された立地適正化計画であったり、都市計画マスタープランであったり、そういったものがそのままここに持ってこざるを得ない状態であると思うのですが、その時に皆さんから御意見頂いていますが、この未来構想の中に出てくるこの部分というのははたしてどこまで意見が言えるのか。全部交互に改正されていきますので、未来構想でこの部分を審議していけるのかどうか。今後都市計画マスタープランであったり立地適正化計画であった

り、中心市街地についてもこれから色々な意味で検討がなされていく中で、そういった事も見据えながらこの未来構想での土地利用構想というもののあり方を少し私たちも整理しないといけないのかなと思いました。

事務局：御指摘未来構想はつくば市の全ての個別計画の元、理念となる計画になりますので、ここで定めたものが都市計画マスタープランや立地適正化計画に反映されていくというかたちにはなりますが、作った順番というものがありますので齟齬はないようにしていかなければいけないというのがあります。土地利用という形で方針を示したものに従って次回の都市計画マスタープランや立地適正化計画の改定の際にはそれを踏まえて作ってもらうということになります。今回は土地利用構想につきましてはこういった土地にはこういう機能になってもらうという方針を示していくというかたちで考えておりますので具体的な事業等載せるものではありませんが、こういった場所にはこういった役割といった方針を載せてそれぞれ個別計画というものがそれに倣って改正していくという流れになると考えています。

会長：今事務局から御説明ありましたけど、上位の位置づけにあるということです。ただ一方で色々な規制だとか専門家の議論もありますので必ずしも全て反映させるという事はありませんが、私としては多少矛盾があったとしてもあるべき姿は出すべきだと思っています。整合性がなくても構わないというわけではありませぬがかえってそういう方がいい計画かなと思いますのであまり気にせずこうあるべきだということは提案して頂ければと個人的には思っております。

委員：今のお話、実は委員とまったく同じ質問を個別でメールでさせて頂いていたのですが、今回の土地利用構想図というのが都市計画マスタープランとか立地適正化計画にどのくらいの影響力を持たせられるものなのかというところがすごく気になっていたんで質問しました。今お話頂いたように色々な事情があって規制、法律等も変わったりする影響を受けて未来構想で決めた土地利用構想と実際が変わってくる部分、都市計画とか立地適正化計画が変わってくるというところもあると思うので、お願いしたいのは経過というかK P I の評価の一環として、未来構想ではこういう風な絵を描いたけれども個別計画ではこうなりました、なぜならば、というのはきちんとわかるようにモニタリングできるようにしておいて欲しいというのはお願いです。

会長：その通りだと思います、是非御検討頂ければと思っております。

委員：未来構想キャラバンが予定されていると思いますが説明と意見交換という

所は、やりました風に終わらないようにお願いしたい。学生もいますけども平易な表現もむしろ吸い上げる様に工夫して進めて頂ければ大変有効かなと思いましたが。

会長：おっしゃる通りだと思います、是非事務局意見を反映頂ければと思っております。それでは予定した時間が来ましたので議事を終了したいと思います。

事務局：最後に事務局から次回以降のスケジュールについて御案内させていただきます。先ほど戦略プランの進め方の所でも御案内させていただきましたが、次回7回の審議会は8月中の開催を予定しておりますので御了承下さい。今回御了承頂きました専門部会に分けて開催したいと思います。日時と専門部会の御希望についてはまた後日御連絡させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。また、第8回の審議会につきましては2月おきました10月中の開催を予定しております。こちらも同様に全体会と専門部会に分けて開催する予定となっておりますのでよろしくお願い致します。また別に御案内させていただきます。今後のスケジュール案内につきましては以上になります。

会長：ありがとうございます。これまでの所で言い漏らしたこと、御質問・御意見がございましたらお願いいたします。他に御質問はありませんか。以上で全ての議事が終了となります。

神部部長：私事ですが、この度内示が出まして今回最後の審議会となっております。文部科学省の方から出向しておりますが、戻る事が決まりまして、新たにまた後任が文部科学省の方から来ることとなっております。この場をお借りして御挨拶させて頂ければと思いますが、本当に感謝の気持ちを述べさせていただければと思います。本当にお忙しい中、このように熱心に議論頂きましてありがとうございます。もう1点お詫びを申し上げさせて頂ければ、なかなか我々至らぬところが多く、わかりづらい表現だったり固い表現だったりとか市民の方々の立場になりきれない所があると思っておりますので、そういった所は御指摘頂く中で修正していければと思っております。今後引き続き進めていく事になりますが、そういった中でも忌憚のない御意見を頂ければと思っておりますのでよろしくお願い致します。私は最後まで携われない中、これから戦略プランで具体的な中身というものが決まってくることとなりますが、その戦略プランを作りながらこの未来構想の中身も必要に応じて修正していく事でさらにいいものになってくると期待が非常に膨らんでいる一方で、最後まで一緒に居られないことが非常に残念です。この動きは私も個人的にはフォローさせて頂きまして最終的なものに非常に期待しておりますので、引き続き御指導頂けれ

ばと思いますのでよろしくお願い致します。

片野次長：大澤会長及び皆様におかれましては、長時間にわたり御議論頂きまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、本日の第6回つくば市未来構想等審議会を閉会いたします。皆さま、お疲れ様でした。